



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

Press Release

✧ Pixie Dust Technologies, Inc.

令和2年1月29日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学
ピクシーダストテクノロジーズ株式会社

**連続的な社会実装を目指す共同研究の基本契約を締結
東北大学発先端技術による社会課題解決へ**

【発表のポイント】

- ・東北大学発の研究成果をスピーディに社会実装する仕組みづくり
- ・共同研究による成果と知的財産を予約承継する技術移転スキーム



【概要】

国立大学法人東北大学（所在地：宮城県仙台市、総長 大野英男 以下「東北大学」）とピクシーダストテクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 落合陽一、村上泰一郎 以下「PDT」）は、東北大学発の先端テクノロジーを社会課題解決に繋げていくことを目指し、新たな技術移転スキームによる共同研究の基本契約を締結しましたので、お知らせいたします。

大学の研究成果を事業化するには、特許出願やノウハウ秘匿など知財面のケアが重要です。加えて、大学と企業の共同研究においては、発明をはじめ研究成果に関する権利交渉や契約条項の調整、両当事者における意思決定手続きなどの煩雑な作業に時間がかかってしまうといった事態がしばしば生じます。

そこで本共同研究においては、東北大学の技術シーズを連続的かつスピーディに利用できるよう、共同研究成果及びその知的財産の100%をPDTに予約承継する新たな技術移転スキームを構築します。これにより、共同研究実施における権利交渉や意思決定手続きの円滑化・迅速化を可能とします。

今後は、東北大学のハード系先端技術とPDTのソフトウェア系技術を掛け合わせ、社会課題解決につながる「空間情報化」技術を開発していきます。新たなスキームを取り入れた共同研究により、東北大学で研究された技術シーズを、PDTがスピード感をもって地方自治体や企業と連携して社会実装することで、様々な社会課題の解決を目指してまいります。※

※PDTの事業概要を参照

■東北大学について

1907年の建学以来、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念のもと、多くの指導的人材を輩出し、世界的に卓越した研究成果をもって人類の知の地平を拡大し、さらには未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導してきました。2017年6月には、世界最高水準の教育研究活動の展開が見込まれる「指定国立大学法人」の最初の三校に指定されました。

また、2018年11月に策定した「ビジョン2030」では、教育・研究・社会連携の好循環を実現し、社会とともに成長する大学として、最先端の創造と大変革への挑戦を表明しております。

※ホームページ：<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/>

■ピクシーダストテクノロジーズ株式会社について

- ・商号：ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
- ・代表取締役：落合 陽一、村上 泰一郎
- ・所在地：東京都千代田区神田三崎町二丁目20番5号
住友不動産水道橋西口ビル4階
- ・設立：平成29年5月
- ・資本金：23億397万9,050円（令和2年1月1日現在）

・事業概要

ピクシーダストテクノロジーズ株式会社は、筑波大学准教授の落合陽一によって2017年に設立されたベンチャー企業です。「人類と計算機の共生ソフトウェア基盤を構築する」を経営理念として、独自の「HAGEN 波源」（波動制御技術）をベースに当社ならではの製品を開発し、また顧客課題に根差したソリューションを共同開発する空間開発型事業「KOTOWARI 理」を展開します。これらの取り組みのなかで、アカデミアで生まれた知の連続的な社会実装を目指します。

現在、開発中の製品には、特定の人々の耳元など空間の任意の位置に音を届ける焦点スピーカーや、介護施設向けの自動運転車いす等があり、大学発のテクノロジーで地方自治体や企業、障がい者の方などが抱える課題を解決すべく、センシング・視覚・聴覚・触覚領域の製品・サービスの開発に取り組んでいます。

※ホームページ：<https://pixiedusttech.com/>

【問い合わせ先】

東北大学

オープンイノベーション戦略機構

産学連携機構 企画室

電話：022-795-5269

E-mail：sanren-kikaku-s@grp.tohoku.ac.jp

ピクシーダストテクノロジーズ株式会社

WEB 窓口：<https://pixiedusttech.com/contact/>